

食文化人類学特論（選択・講義1単位）〔教職（栄養教諭）選択必修〕 守屋 亜記子

【授業の到達目標および概要】

人間にとって「食」とは何かについて、文化人類学的視点から学ぶ。具体例を通して、食の社会・文化的背景、食に投影される多様な価値観を理解できるようになることが目標である。この科目の目標は、人間の食について幅広い視野に立ち精深な学識を得るというDPに関連する。

日本の食文化の歴史的変遷について学び、それを東アジア食文化圏という枠組みの中で捉える。また、食生活の記録や民族誌などを通して、食に映し出される文化の諸様相について考える。

【授業計画】 <英語併用可>

- ① 食を文化という視点から考える（対面）
- ② 日本の食文化史（対面）
- ③ 日本の食文化における米と肉（対面）
- ④ 日本における発酵の食文化（対面）
- ⑤ 東アジアの食文化（対面）
- ⑥ 食とイデオロギー（対面）
- ⑦ 食をめぐる現代的課題（対面）

【授業外学習】

各自の関心に応じて、食関連の文献を読む。

【成績評価の方法・基準】

授業への参加態度（20%）および提出レポート（80%）により評価を行う。

【教科書】

特になし

【参考書】

授業の際にアナウンスする。

【教材】

授業の際にプリント等配布する。

【備考】

状況に応じて、履修者と相談の上、オンライン授業への変更もありうる。